

## 地球市民になろう～ラオスを通して気づき、考え、行動しよう～

所属	愛知県弥富市立弥富北中学校	実践者	須古井 京子 (L)
対象	中学2年生	時間数	16時間
場所	総合教室 体育館	実践教科	総合的な学習の時間
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国々や人々に興味をもち、共通性や多様性に気づくことができる。</li> <li>・ラオスと日本との比較から、豊かさや幸せについて考えることができる。</li> <li>・ラオスで働く人々のことを知り、自分の将来の夢について考えることができる。</li> </ul>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1～12	<b>&lt;世界と出会おう&gt;</b> ○世界がもし 100 人の村だったら ○貿易ゲーム ○貧困の悪循環 ○世界の学校事情 ○わたしの常識はあなたの非常識？ ナミビアの暮らしを知り、日本の常識は、ナミビアではどうなる？ ○校外学習 “Green Peace の旅” (なごや地球ひろば、ピースあいち) ・世界の子ども展 ・ブータンに出会う ・ウガンダ給食体験	「世界がもし 100 人の村だったら」 パワーポイント JICA国際協力出前授業 講師：ナミビア元海外青年協力隊員  JICA中部 訪問プログラム体験
	13	<b>&lt;ラオスと出会おう&gt;</b> ○ラオスに行ってきます！ ・ラオスってどんな国 ・アンケート ○ラオスの子どもたちを笑顔にするプロジェクト ・千羽鶴を折ろう ・文房具を送ろう	パワーポイント アンケート
	14	<b>&lt;ラオスを通して気づき、考え、行動しよう&gt;</b> ○ラオスと日本の深い気づき ・ラオスクイズをやり、面白いものをみんなに紹介する。 ・ラオスの写真を見て、気づいたことを付箋に書き、日本と比較し、違いや同一性を考え、グループで二元軸表を完成させる。 ・ラオスと日本の比較から、自分たちの“深い気づき”を3つ選び、グループ毎に発表する。	ラオスクイズ 6 セット ラオスの写真 6 セット 模造紙 6 枚、付箋紙、(二元軸表) ワークシート
	15	○豊かさって何だろう？ ・フォトランゲージ: グループ毎に「地球家族」の写真を見て、豊かだと思ふ順番を話し合っ決めて、その理由も発表する。 ・ラオスと日本の比較(資料からのデータ、現地での情報)から豊かさの視点を考える。 ・豊かな暮らしに必要なもの(こと)を考え、グループ毎に発表する。	「地球家族」からの5カ国の写真 6 セット 模造紙 6 枚 ワークシート
	16	○ラオスからのメッセージ ～自分の夢に向かって～ ・15年後の自分の名刺を作って、自己紹介をする。 ・ラオスで働く協力隊員やNGOの方々のメッセージを聴いて、心に残った言葉を書く。 ・グループ内で「働く」の派生図をつくる。	ラオスで撮ったインタビュービデオ 名刺用紙 模造紙 付箋紙 (派生図) ワークシート
成果	先年度から、総合学習で国際理解教育の計画をしていたため、テーマに沿った学習を計画的に進めることができた。世界の国々に興味をもち、肯定的に理解しようとする態度が育った。またラオスを身近に感じることで、世界と自分たちはつながっているという意識が高まった。		
課題	ラオスに関する内容は50分授業で実施したが、参加型の授業展開では、生徒の活動にもう少し時間をかける必要があると感じた。通常授業を 2 時間続きで実施できるようにしたい。生徒達は興味関心をもち、楽しみながら活動していたが、さらに深い学びにするためには、教材を精選し、より効果的な授業展開の工夫も考えていきたい。		
備考			

## [ 授業実践の詳細 ]

### 14 時限目「ラオスと日本の深イ気づき」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① **アイスブレイキング**:グループ内で「○○な○○です。」と自分のイメージを肯定的なひと言で自己紹介する。
- ② **ラオスクイズ**:グループ内で、教師が準備したクイズ(ひとり一問)をやる。一番面白いと思うクイズをクラス全体に紹介し、みんなでやる。
- ③ **フォトランゲージ**:グループで、3枚のラオスの写真を見ながら、各自が気づいたことを付箋紙に書き出す。
- ④ **二次元軸表の作成**:二次元軸を書いた模造紙に、各自で付箋紙を貼る。その付箋紙の位置をグループで話しあいながら完成させる。
- ⑤ **「深イ気づきベスト3」**:二元軸表から、自分たちの気づきを模造紙に書き、グループ毎に発表する。

#### この時限のねらい

- ・ ラオスについて興味をもつ。
- ・ ラオスと日本の比較から、互いの違いや同一性に気づき、肯定的に理解しようとする。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ アイスブレイキングの自己紹介では、「自分のイメージ」をすぐにひと言で表すことができず、やや時間がかかりすぎた。
- ◇ ラオスクイズではどのクイズにも興味をもって取り組んでいた。特に、教師が体験してきたことをクイズにしたものは、大変喜び、それをクラス全体に紹介していた班が多かった。
- ◇ ラオスの子どもたちの写真を中心に3種類用意し、写真のキャプションをできるだけ簡略化したが、説明不足のため、事実と違う思い込みをしてしまう場面があった。
- ◇ 二元軸表を作成しながら、ラオスと日本の良いところや良くないところについて、話し合うことで互いの気づきを共有することができた。



<ラオスクイズで盛り上がる>



<ラオスの写真から、気づきを書き出す>



<グループで二次元軸表を完成する>



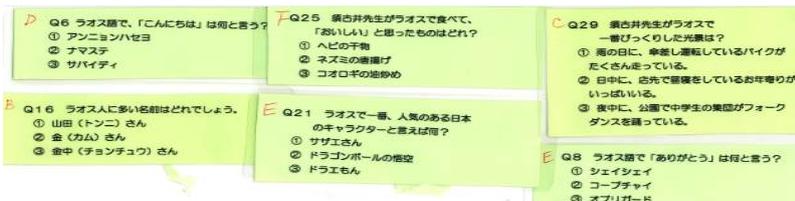
<二次元軸表>

### 3 使用した教材

<教材1>ラオスクイズ

<教材2>二元軸表のグラフ

<教材3>ラオスの写真



【ラオスクイズ】



【少数民族の村の兄弟】



【少数民族の村の赤ちゃん】



【織物を織って売る少女】

## 15 時限目「豊かかって何だろう？」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレーキング:自分の「幸せを感じる時」をグループ内で紹介する。
- ② フォトランゲージ:グループで、「地球家族」の5カ国の写真を見比べ、豊かだと思ふ順番を決る。その理由とともに発表す。
- ③ ラオスと日本の比較:資料データや教師が現地で集めた情報を聞いたり、自分のことを振り返ったりしながら、ワークシートを完成させる。
- ④ グループで、豊かな暮らしのために必要なこと(もの)を模造紙に5つ書き出し、発表する。

#### この時限のねらい

- ・ 豊かさのとらえ方の多様性に気づき、豊かな暮らしのために必要なこと(もの)を考える。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 授業で使用した「地球家族」の写真集に興味をもった生徒が多く、授業終了後に改めて写真集を見ている生徒もいた。

- ◇ フォトランゲージでは、5カ国の順番を決めるための話し合いの中で、互いに自分の価値観や考え方を伝え合うことができたグループが多かった。
- ◇ 「豊かさ」をキーワードにして授業を進める中で、国による違いだけでなく、クラスの仲間同士でも、豊かさの考え方に多様性があることに気づくことができた。
- ◇ グループ活動には慣れてきたが、模造紙に書いて作成するという作業には予想以上の時間がかかった。



<5カ国の写真からランキング>



<豊かな暮らしのために必要なもの>

### 3 使用した教材

<教材4>「地球家族」の本(写真5枚)

<教材5>ワークシート「豊かさについて考えよう！」

「地球市民になろう~Think globally, act locally!~」  
『ラオスを通して、気づき、考え、行動しよう②』

2年 組 番 名前

1 わたしの、僕の……

大切なもの  
家族、友達、命、食べ物、体金

幸せを感じる時  
色あはもろを食べていき、友達と遊んでいる

2 地球家族の写真から  
○ 豊かだと思ふ国の順番  
④→②→⑤→③→①

○ 「豊かさ」をどんな視点で比べましたか?  
家賃、家具、風景、物の量、家族の人数、車、服

3 ラオスと日本を比べてみよう!

	日 本	ラオス
★世界のデータから		
1 月収 (順位)	28万円 (2位) ○	1~2万円
2 平均寿命 (順位)	81歳 (1位) ○	62歳
3 乳幼児死亡率 (順位)	3人 (少なさで1位) ○	1000人のうち178人
★この夏、ラオスで聞いたことから (日本の欄に自分の考えを書こう)		
4 あなたの大切なものは?	家族、友達 ○	家族
5 あなたの夢は	美容師	たくわの暮
6 大事にすべき人って?	子ども	子ども、お母さん
7 いじめってあるかな?	ある	いじめが命がたり
8 老人の孤独死は心配?	ある	おはな

※各項目の豊かな暮らしだと思う方に○をつけましょう。

【豊かな国とは…】

	日 本	ラオス
★世界のデータから		
1 月収 (順位)	28万円 (2位) ○	1~2万円
2 平均寿命 (順位)	81歳 (1位) ○	62歳
3 乳幼児死亡率 (順位)	3人 (少なさで1位) ○	1000人のうち178人
★この夏、ラオスで聞いたことから (日本の欄に自分の考えを書こう)		
4 あなたの大切なものは?	家族、友達 ○	家族
5 あなたの夢は	美容師	たくわの暮
6 大事にすべき人って?	子ども	子ども、お母さん
7 いじめってあるかな?	ある	いじめが命がたり
8 老人の孤独死は心配?	ある	おはな

※各項目の豊かな暮らしだと思う方に○をつけましょう。

【ラオスと日本を比べてみよう】

## 16 時限目「ラオスからのメッセージ~自分の夢に向かって~」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング:15年後の自分の名刺を作り、グループ内で自己紹介する。
- ② ラオスからのメッセージ:ラオスで働く日本人(青年海外協力隊、NGOスタッフ等)のインタビュー動画(10分)を視聴し、心に残った言葉やフレーズを付箋紙に書く。
- ③ 派生図の作成:グループで、「働く」から派生図を作成する。
- ④ 自分の将来の夢のために、今できることを書き出し、発表する。

#### この時限のねらい

- ・ ラオスで働く日本人のビデオを観て、自分の将来の夢について考える。
- ・ 自分の将来のために、今できることを考える。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 現地でのインタビューの動画は、5人のインタビューを10分ほどにまとめ、聴き取りにくい場面もあったが、生徒たちはとても集中して視聴することができた。
- ◇ 心に残った言葉やフレーズを書く場面では、書き止めたことがたくさんあったようで、付箋紙が足りないくらいであった。
- ◇ 派生図の作成では、グループの仲間と話し合いながら作業をすすめ、自分と異なる意見を肯定的に受け止める場面が多く見受けられた。
- ◇ 仕上がった派生図を隣のグループと交換し、「いいねチェック」をしたことで、「働く」ことの意義をより多面的に感じることができた。



<15年後の自分の名刺づくり>



<集中してビデオを視聴する>



<心に残った言葉を付箋紙に書く>



<「はたらく」の派生図>

## 3 使用した教材

<教材6>ラオスで働く日本人のインタビュー動画

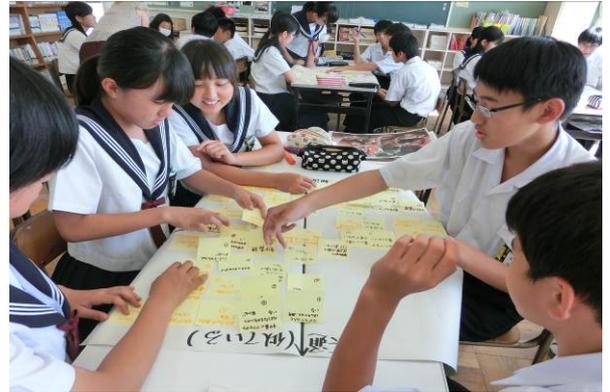


## ■ 全体を通して

### 1 授業の様子



<JICA訪問プログラムに参加>



<グループでの話し合いも和やかに>



### 2 参考文献・資料

- 1) 「もし世界が100人の村だったら」
- 2) 「地球家族」～世界30カ国のふつうの暮らし～ TOTO出版
- 3) (公財)愛知国際交流協会「世界の国を知る・世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来」

<自分たちの学びを全校生徒に伝える>

<参加型の学習の成果を・・・>